

元気の出る職場づくり実践事例集 ～あなたの力が学校の魅力になる～

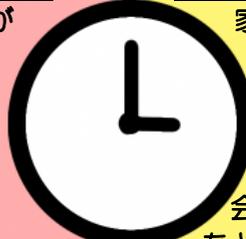
【作成】令和5年度 中丹主幹教諭・指導教諭会



人間関係づくり

大切な同僚に今日も一声

「〇〇してくれて、ありがとう。」「〇〇がうまくいってよかったね。」
相手を気遣う言葉かけから始めた。「些細なことでも見ているよ。」というメッセージを意識した。



ロールプレイを使った実践研修

家庭訪問や懇談の前には実際にロールプレイを行い、保護者対応やマナーについて実践的に学んだ。他の教職員の姿を見て、会話の仕方や表情なども参考者にできた。

人材育成

活気のある学校をつくるためには、元気な教職員の存在は欠かせません。そこで、中丹主幹教諭・指導教諭会では、4つの観点から進めてきた教職員が元気になるための取組をまとめました。これらの実践例がさらに広まり、元気な教職員の力がつながり合って魅力あふれる学校づくりの一助となれば幸いです。

職員室での会話を大切に

仕事の話だけでなく、雑談も取り入れることで、話しやすい雰囲気を作ることができた。リラックスしながらゆったりした時間の積み重ねが関係づくりに役立った。

〇〇学校のちょっといい話

職員室前に箱を設置し、心温まる言動を見つけた人がいつでも投函できるようにした。内容をまとめて、朝読書の時間に全校生徒で読み合い、共有した。

若手教職員を中心とした研究協議

研究協議の際に若手教職員がファシリテーター役となり、様々な教職員とのつながりを作ることができた。意見や考えをうまくつなぐスキルも身に付けることができた。

メンターシップを生かした若手研修会

経験の少ない教職員を中心とした研修会を定期的に位置づけ、互いに悩みを交流したり、解決策を話し合ったりした。リラックスした雰囲気の中で高まり合う関係が築けた。

組織的な素早い対応の徹底

子どもの対応に困ったとき、関係教員でさっと集まり、指導の方向性や改善案を出し合った。家庭訪問や聞き取り等も複数で対応し、担任が一人で抱え込まないようにした。

ねらいを明確にした学校行事の指導

全ての学校行事において、必ず「何のためにするのか」「どんな力を付けるのか」を全教職員で共通確認して指導に当たることで、教員自身の意欲が高まった。

ペーパーレス会議

ICT機器を活用し、要点を絞って連絡や伝達を行うことで時間削減につながった。空いた時間でミニ研修を実施し、効率よく研鑽を積むことができた。

ベテラン教員の強みを生かして

中堅やベテランの教職員が講師となり、授業づくりや学級経営のポイントを教えた。講師を務める教職員は、後輩を育てるという意識を高めることができた。



無理のない教育計画の作成

教育計画の振り返りを学期末毎に行い、次学期に生かす形でその都度見直しを行った。カリキュラム・マネジメントの視点で行事や学習が精選され、教職員に余裕が生まれた。

児童・生徒主体の取組へ

学校生活や行事について、全生徒から願いや思いを吸い上げ見える化し、積極的に反映させることで校内に活気が生まれ、教職員が前向きに行事に取り組むことができた。



計画的な年休取得

祝祭日のない月を中心に早めに年休取得の計画を立て、平日に交代で休むことでプライベートが充実し、リフレッシュできた。

教科担任制の導入（小学校）

担当の教材研究にこれまで以上に取り組めること、空き時間ができること、複数の目で子どもの様子を見て情報共有できることなどのメリットがあった。

マネジメント



働き方・意識改革